

活用のポイント例

自校の状況をもとに考えよう

「1. 問題の概要」を活用して

「出題の趣旨」や「学習指導要領の内容」、「評価の観点」から
「どのような力をつけるのか」をつかみましょう。

資質・能力

「正答の条件」や「正答例」から
「どのような姿をめざすのか」をつかみましょう。

「2. 生徒の状況(解答類型抜粋)(質問紙調査)」を活用して

「解答類型」や「経年比較のグラフ」から
「どのような姿なのか」をつかみましょう。

具体的な生徒の状況

「3. 授業づくりのポイント」を活用して

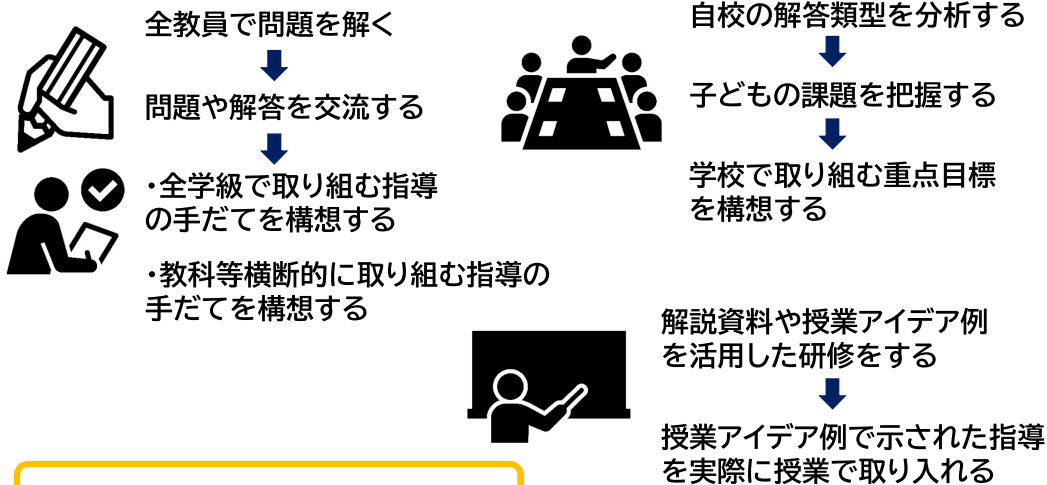
「授業づくりのポイント例」から
「どのような指導ができるのか」をつかみましょう。

指導の手だて



全国学力・学習状況調査を活用した 授業づくり参考資料 【中学校】

全国学力・学習状況調査の活用例



参考

文部科学省 調査結果の活用・分析の取組
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/1344286.htm

国立教育政策研究所 「教育課程研究センター」全国学力・学習状況調査
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

掲載事例

【国語】

- ・意見文を書く（言葉の使い方）² 二
- ・文学的な文章を読む（「吾輩は猫である」）³ 四

【数学】

- ・資料の散らばりと代表値 ⁵
- ・データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること(キャンプ場の気温) ⁸ (3)

活用にあたって

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の問題から考えられる「授業づくり」のポイントや、指導の手だての例を掲載しています。子どもたちへの指導の参考例としてご活用ください。

大阪府教育センター 令和4年2月

【中学校国語】意見文を書く（言葉の使い方） 2 二

1. 問題の概要

出題の趣旨

書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える。

学習指導要領の内容 第2学年 B 書くこと オ

書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること（平成20年版）

評価の観点

書く能力

正答の条件

次の条件を満たして解答している。

- ①【意見文の下書き】の構成にどのような工夫があるのかが分かるように書いている。
- ② 複数の段落に着目して、1、2などの段落の番号を示しながら書いている。

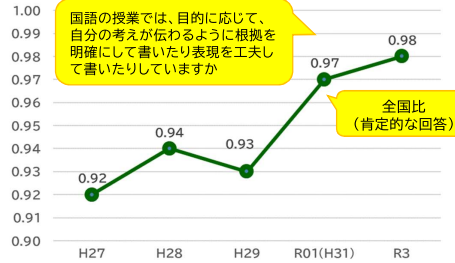
正答例

3段落で自分の意見を述べ、その中で4段落で自分の意見を述べ、その中で4段落の意見に説得力をもたせている。

	大阪府	全国
正答	70.5	74.5
無解答	12.0	8.5

全国比 0.95

2. 生徒の状況（質問紙調査）



3. 授業づくりのポイント

- ✓ 「構成の検討」「考えの形成」「推敲」などの学習過程を意識しましょう。
例：単元計画において、「構成の検討」の時間、「推敲」の時間、などというように、学習の目的を明確にし、学習時には生徒と共有する。
- ✓ 相手にどのように伝わるのかを考えさせましょう。
例：自分の文章を読み返す際には、「読み手」の立場になり、根拠となる事例の有効性や表現の効果について見直すことを指導する。
- ✓ 「交流」の際に、生徒が具体的な意見や助言をイメージできるようにしましょう。
例：交流の前に、目的や観点を示したり、必要に応じて、話型や意見のモデルを示したりして、相手に伝える意見や助言の見直しをもたせるようにする。

【中学校国語】文学的な文章を読む（「吾輩は猫である」） 3 四

1. 問題の概要

出題の趣旨

文章に表れているものを見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。

学習指導要領の内容 第1学年 C 読むこと オ

文章に表れているもの見方や考え方をとらえ、自分のもの見方や考え方を広げること。（平成20年版）

評価の観点

読む能力

正答の条件

次の条件を満たして解答している。

- ①【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用して書いている。
- ② ①で引用した表現から、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしているのかが分かるように書いている。
- ③ ②のような「吾輩」の接し方について、自分の考えを具体的に書いている。

正答例

「吾輩は黒い猫である」と評価していますが、「文章の一部」で「黒」を評価している表現を引用して書いている。また、このように「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしているのかが分かるように書いている。また、このように「吾輩」の接し方について、自分の考えを具体的に書いている。

2. 生徒の状況（解答類型抜粋）

解答類型	大阪	全国
正答 条件①②③を満たしているもの	15.5	20.5
2 条件①②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	1.7	2.1
3 条件①③は満たしているが、条件②は満たしていないもの	0.2	0.3
4 条件②③は満たしているが、条件①は満たしていないもの	45.7	44.6

4に着目 「引用」の仕方がわからなかったのではなく、どの箇所を「引用」すればよいかわからなかったのではない。

3. 授業づくりのポイント

- ✓ 「構造と内容の把握」や「精査・解釈」などの学習過程を意識しましょう。
例：単元計画において、「構造と内容の把握」の時間、「精査・解釈」の時間、などというように、学習の目的を明確にし、学習時には生徒と共有する。
- ✓ 文章を読むときには、読む目的や意図、何を得ようとするのかという見直しをもたせて上で読ませましょう。
例：文章を読む前には、どのような目的をもって読むのか、また読んで得たことがどのようなことにつながるのかなど、先の見直しをもたせる。
- ✓ 文学的な文章を読む際には、言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、観点を定めて読ませましょう。
例：自分の考えの根拠になる言葉を明らかにして表現したり、対話したりするような活動場面をつくる。
- ✓ 一部分だけでなく、複数の場面を結びつけて読ませましょう。
例：複数の場面の登場人物の心情や行動、情景等の描写を結びつけて読む活動を取り入れ、新たな考えが得られるようにする。

【中学校数学】資料の散らばりと代表値 5

1. 問題の概要

出題の趣旨

与えられたデータから中央値を求めることができる。

学習指導要領の内容 第1学年 D 資料の活用

目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。
ア ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること。（平成20年版）

評価の観点

数学的な技能

下の記録は、ある中学校の男子生徒10人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

記録 43 46 46 52 53 55 56 56 56 57

	大阪府	全国
正答	83.2	84.5
無解答	1.4	1.0

全国比 0.98

正答率11.7ポイント上昇

2. 類似問題・・・平成30年度 A問題 14 (2)

評価の観点

数学的な技能

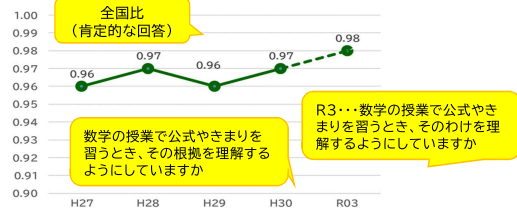
下の記録は、ある中学校の女子生徒9人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

記録 37 41 43 44 45 47 50 50 51

	大阪府	全国
正答	71.5	74.0
無解答	4.9	4.6

全国比 0.97

3. 生徒の状況（質問紙調査）と授業づくりのポイント



- ✓ 解答を求めるだけでなく、求め方の意味等を考えさせましょう。
例：解答を求めるだけでなく、その解答に至った過程を説明させたり、なぜその求め方になるのかを考えさせたりする時間を設定する。
- ✓ 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
全国比（肯定的な回答）
- ✓ 生徒が試行錯誤しながら考えを深められるようにしましょう。
例：単元の指導の中で、ノート等に考えの過程を表現する時間を設定し、生徒に交流させながら、考えを深めていくことができるようにする。

【中学校数学】データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること（キャンプ場の気温） 8 (3)

1. 問題の概要

出題の趣旨

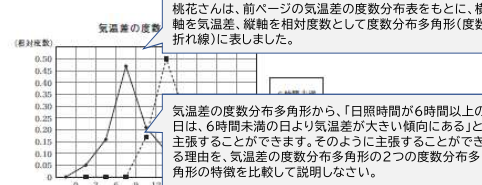
データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

学習指導要領の内容 第1学年 D 資料の活用

目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。
イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。（平成20年版）

評価の観点

数学的な見方や考え方



正答の条件

- 次の(a)、(b)について記述しているもの。
- (a) 6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にあること。
- (b) 日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にあること。

正答例(解答類型1)のみ抜粋

2つの度数分布多角形が同じような形で、6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にある。したがって日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある。

※(a)のみの記述は**准正答**としている。

2. 生徒の状況（解答類型抜粋）

解答類型	大阪府	全国
正答 ①、②の全てを書いているもの	2.1	3.1
①のみを書いているもの	6.1	8.0
3 ① 3から7に着目 ② 角形が異なることのみを書いているもの	0.2	0.3
4 2つの度数分布多角形の形状のみを書いているもの	4.9	4.7
5 2つの度数分布多角形の山の高さの比較について書いているもの	3.0	3.1
6 度数分布多角形の一部のみを比較している状況になっている。度数分布多角形の何を比較するのかが理解できていないのではない。		
7		

3. 授業づくりのポイント

- ✓ それぞれの表やグラフからどんな情報を読み取ることができるかを考えられるようにしましょう。
例：度数分布表やヒストグラム、度数分布多角形などの表や図を、どんな情報を読み取る時に活用できるのかを考える学習活動を設定する。
- ✓ データなどの特徴を多面的・批判的に読み取れるようにしましょう。
例：「課題発見」→「データ収集」→「分析」→「考察」→「新たな課題発見」→…のような過程の中で、結果について多面的・批判的に考察する学習場面を設定する。
- ✓ データの分析や結果の考察の過程を振り返り、根拠を基に説明できるようにしましょう。
例：単元の特定の場面で、課題解決の過程を振り返り、記述し伝え合うことで、より洗練された表現をめざす学習活動を設定する。
- ✓ 一人一台のICT端末を効果的に活用して、表や図を効率的にまとめることができるようにしましょう。
例：表計算ソフトなどを効果的に活用して、度数分布表やヒストグラム、度数分布多角形などを効率的に作成する活動を設定する。